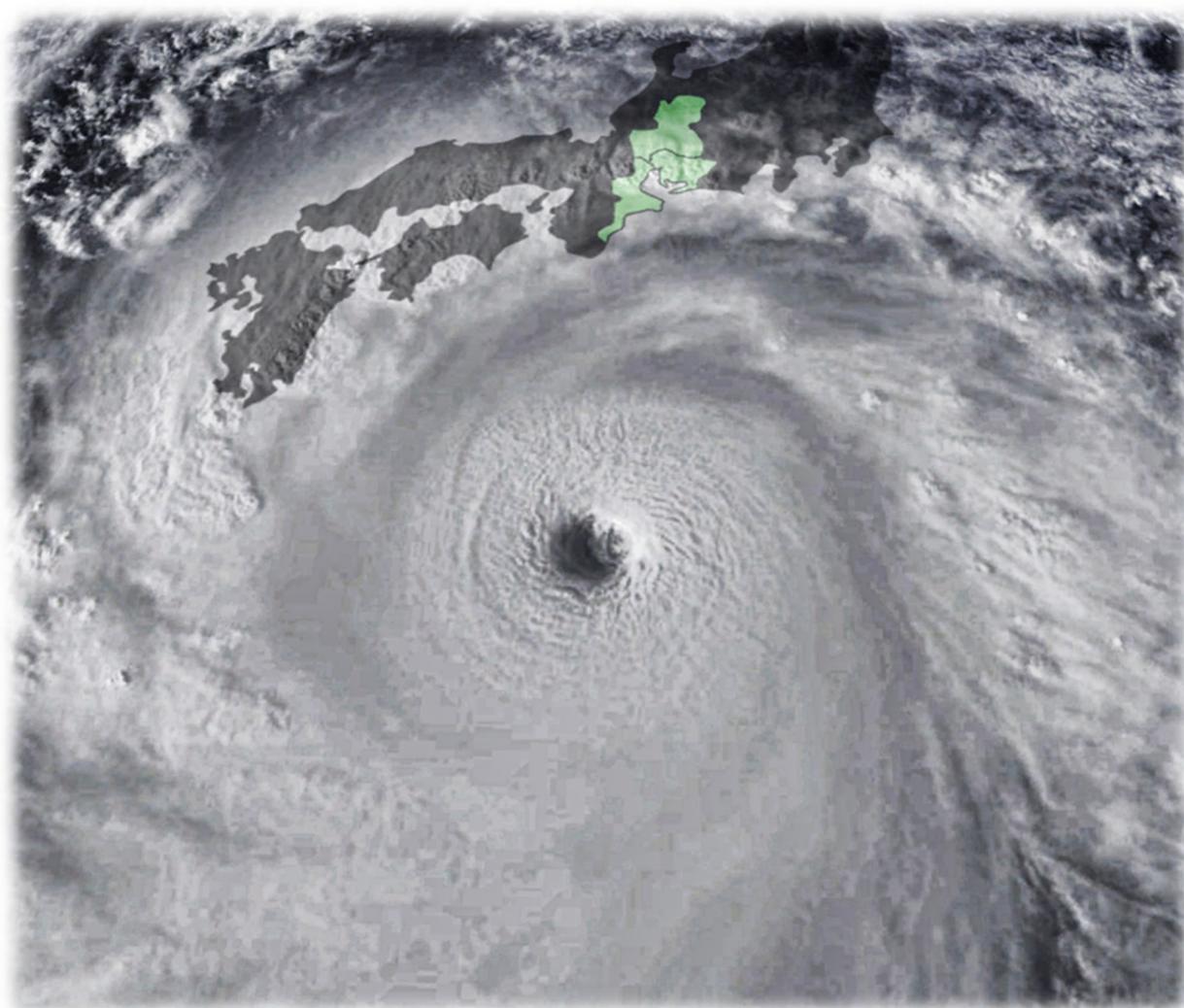


# ::危機管理行動計画(第四版)::

---

(概要版)



令和2年4月

東海ネーデルランド高潮・洪水地域協議会

## 危機管理行動計画改定の背景とポイント

### ■危機管理行動計画改訂の背景

◇危機管理行動計画（第一版）が策定された平成20年から約10年、第三版が策定された平成27年から5年近く経過し、**濃尾平野の社会経済動向が変化**。

◇多くの大災害を経験し、以下に示すような**法制度や施策の変更**等、災害対応を取り巻く状況が変化。

#### 1. 法律やガイドラインの改定

- ① 災害対策基本法の改正（H24.6、H25.6）
- ② 水防法の一部改正（H25.6、H27.5）
- ③ 避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドラインの改定（H26.9）
- ④ 水害ハザードマップ作成の手引きの改定（H28.4）
- ⑤ タイムライン（防災行動計画）策定・活用指針〈初版〉（H28.8）
- ⑥ 洪水・高潮氾濫からの大規模・広域避難に関する基本的な考え方（報告）（H30.3）
- ⑦ 平成30年7月豪雨を踏まえた水害・土砂災害からの避難のあり方について（報告）（H30.12）
- ⑧ 避難勧告に関するガイドラインの改定（H31.3）

#### 2. タイムライン（防災行動計画）の活用

- ・平時から各主体協働による、タイムライン（防災行動計画）を活用した取組みを行うことが重要。

#### 3. 地域BCPの考え方

- ・地域で社会・経済活動を営む企業BCPの視点だけではなく、地域や企業を支える住民や従業員の生活の持続性をも踏まえた「地域BCP」の考え方が重要。

#### 4. 将来の気象予測の変化

- ・IPCC第5次評価報告書が平成26年10月にまとめられ、21世紀末の世界平均海水位は、上昇する可能性が高いことが報告されたことから、ゼロメートル地帯の、浸水リスクの増大が想定される。

#### 5. 特別警報の運用開始（H25.8）

- ・警報の発表基準をはるかに超える豪雨や大津波等が予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合、気象庁は「特別警報」を発表し、最大限の警戒を呼びかけることとなった。

#### 6. 早期注意情報（警報級の可能性）の提供（H29.5）

- ・警報級の現象が5日先までに予想されているときには、気象庁はその可能性を「早期注意情報（警報級の可能性）」として〔高〕、〔中〕の2段階で発表することとなった。

#### 7. 台風強度予報の5日先までへの延長（H31.3）

- ・これまで3日先まで発表していた強度予報（中心気圧、最大風速、最大瞬間風速、暴風警戒域等）を5日先まで延長して発表することとなった。

#### 8. 地域基礎情報の更新

- ・人口の増減や地域開発状況など、社会経済動向の変化。

#### 9. 濃尾平野の排水計画の策定（H25.8）

- ・計画規模を上回る高潮・洪水による濃尾平野の広域かつ甚大な浸水被害を想定し、「濃尾平野の排水計画（第1版）」（H25.8）を策定。

#### 10. 新たなステージに対応した防災・減災のあり方（H27.1）

- ・既に明らかになっている気象の変化等を「新たなステージ」として、最大クラスの洪水・高潮など今後の大災害への対応を着実に進めることが提唱された。

#### 11. 水防災意識社会再構築ビジョンの取り組み

- ・「施設の能力には限界があり、施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するもの」へと意識を変革し、社会全体で洪水に備える必要がある。

#### 12. 洪水・高潮氾濫からの大規模・広域避難検討ワーキンググループ

- ・避難時の大混雑や多数の孤立者の発生が懸念される首都圏等における、洪水や高潮氾濫からの大規模かつ広域的な避難の在り方等が検討された。

#### 13. 木曾三川下流部 広域避難実現プロジェクト

- ・適時・的確な広域避難誘導の実現に向けた計画策定が行われている。

#### 14. 桑員地域防災対策会議

- ・警海拔ゼロメートル地帯において風水害による高潮・洪水等が発生し、又は発生するおそれがある場合において、避難及び受入に関する事項について、広域避難協定を締結。

#### 15. 令和元年台風第19号等による災害からの避難に関するワーキンググループ

- ・東北、関東甲信越を中心に広域かつ甚大な被害をもたらした令和元年台風第19号等を教訓とし、激甚化・頻発化する豪雨災害に対し、避難対策の強化を検討するため、ワーキンググループを設置。

## ■危機管理行動計画改定のポイント

### ◇情報共有準備室・情報共有本部の明確化

- ・客観性を重視し、気象情報と過去の災害時の実績データとの比較により、**定量的な設置基準を設定**した。
- ・必要に応じてTNT関係機関に、避難活動の準備等を実施するにあたっての情報提供を行うものであり、**意思決定は行わない**。
- ・情報共有準備室の構成機関は中部地方整備局及び名古屋地方気象台とし、情報共有本部の構成機関は中部地方整備局、名古屋地方気象台、三県（愛知県・岐阜県・三重県）、一市（名古屋市）とした。

### ◇タイムラインの見直し

- ・全53機関を対象とした「**TNT関係機関タイムライン**」の作成。
- ・避難指示（緊急）をステージ1に前倒し。（避難勧告と同じ警戒レベル4）
- ・令和元年台風第19号襲来時の**東日本の鉄道計画運休等を踏まえた**タイムラインの見直し。

### ◇自主的危機回避行動（自主避難）

- ・定義を明確化：**「自治体の避難情報の発令以前に、浸水想定区域外の市町村にある指定された避難所以外の親戚宅・知人宅等に避難すること」**
- ・TNTの想定浸水域内に位置する市町村に居住する住民を対象にしたアンケートから、TNT浸水想定区域内の自主的危機回避行動（自主避難）率を想定＝**6.5%**。

### ◇TNT情報共有システム

- ・TNT関係機関で共有することが必要と考えられる情報を明確化し、TNT情報共有システム（試行版）を作成。

### ◇啓発活動（避難を促す取り組み）

- ・自主的危機回避行動（自主避難）を含む住民の主体的な避難を促すための取り組み事例を紹介。

### ◇地域BCPの考え方

- ・想定される被害・影響、対策への取り組み、及び対策の推進に向けた方策等について、「TNT大規模水害対策レポート01 社会経済の壊滅的被害回避方策」を策定。
- ・地域で社会・経済活動を営む企業BCPの視点だけでなく、**地域や企業を支える住民や従業員の生活の持続性をも踏まえた「地域BCP」**（事前対応を含む）の考え方を導入。
- ・復旧活動に不可欠な浸水区域の排水活動による浸水区域の推移（図）を作成。
- ・全国の企業による地域と連携したBCP関連活動の事例を紹介。

### ◇避難バス調達ルール

- ・市町村において広域避難を実施するための避難（臨時）バスの調達方策（案）を検討。

### ◇課題と検討状況

- ・第四版の策定までに残された課題について、現時点における検討状況を巻末に整理。

## 危機管理行動計画の定義と位置付け

### 危機管理行動計画の定義

地球温暖化の影響等により、今まで想定してこなかった様な巨大災害の発生の恐れが高まっており、このような巨大災害に対応する危機管理の仕組みを構築していく必要がある。本行動計画は、東海地方の低平地で計画規模を超える高潮や洪水による大規模かつ広域的な浸水被害が発生した場合に備えるため、TNT関係機関に必要とされる行動を、**現状の制度枠組みにとらわれず**に立てた行動計画であり、今後、TNT関係機関が連携して行動する際の「**規範となるよう定めた計画**」である。

### とりまとめ方針

- ・大規模且つ広域的な水災の発生が予想される時から応急復旧が完了するまでの、望ましい行動を**ガイドライン的に記載**。
- ・危機管理行動を適切に遂行するためのポイントを枠囲いで記載し、枠外に解説や参考事例を記載。
- ・TNT関係機関が連携して行動しなければならない事項を、網羅的に記載。
- ・危機管理行動を適切に遂行するために必要な、ハード及びソフトの整備も積極的に記載。
- ・現時点において十分な対応ができない事項や検討途上の事項も、**留意事項として積極的に記載**。

### 危機管理行動計画の位置付け

- ・各機関が各機関の計画の具体化を行うにあたり、**広域的な危機管理行動全体との整合**と機関を超えた認識の共有を図るもの。
- ・本行動計画は、TNT関係機関が連携して行動する際の「規範となるように定めた計画」としてガイドライン的に記載したものである。今後、本行動計画が**災害対策基本法や防災基本計画との整合性が図られるものとなった段階**で、その主旨を踏まえて、**各機関が各機関の判断により適宜、水防計画、防災業務計画、地域防災計画に反映**する。
- ・実効性を持たせるには、本行動計画が災害対策基本法や防災基本計画等との整合性を図ることが必要なことから、今後、関係法令の改正等に向けた取り組みを行う。併せて社会情勢の変化への対応や法令等の制定・改定案を反映し、今後も**継続的な検討を踏まえた見直し**が必要であり、「東海ネーデルランド高潮・洪水地域協議会」（必要に応じ作業部会・WG）を開催し、改善を目指す。

### 協議会メンバー

中部管区警察局、総務省東海総合通信局、厚生労働省東海北陸厚生局、農林水産省東海農政局、経済産業省中部経済産業局、経済産業省中部近畿産業保安監督部、国土地理院中部地方測量部、国土交通省中部地方整備局、国土交通省中部運輸局、気象庁名古屋地方気象台、海上保安庁第四管区海上保安本部、陸上自衛隊第10師団、岐阜県、愛知県、三重県、名古屋市、海津市、養老町、津島市、稲沢市、愛西市、弥富市、あま市、大治町、蟹江町、飛島村、桑名市、木曾岬町、朝日町、川越町、日本赤十字社愛知県支部、日本放送協会名古屋放送局、中日本高速道路（株）名古屋支社、東海旅客鉄道（株）、近畿日本鉄道（株）、名古屋鉄道（株）、（公社）愛知県バス協会、（公社）三重県バス協会、西日本電信電話（株）東海事業本部、東邦瓦斯（株）、中部電力（株）、（株）NTTドコモ 東海支社、中部地区エルピーガス連合会、名古屋港管理組合、四日市港管理組合、岐阜県警察本部、愛知県警察本部、三重県警察本部、東海商工会議所連合会、（一社）中部経済連合会、東海財務局、日本銀行名古屋支店、内閣府政策統括官（防災担当）

計53機関

# 1. 複合災害の想定

現在の防御計画の対象事象を超え、かつ起こりえる規模の高潮及び洪水を、本危機管理行動計画の想定外力とする。

## 【高潮の想定】

現在の計画規模を超える「**スーパー伊勢湾台風**」規模の超大型台風による高潮災害。



### 高潮の計算条件(前提条件)

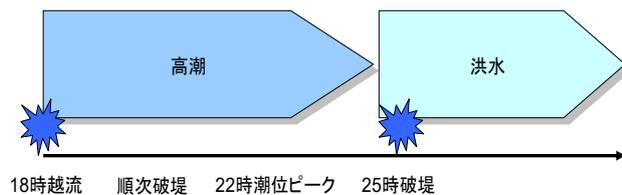
- ①台風規模は、国内で発生した既往最大の台風である**室戸台風**（上陸時の中心気圧 910hpa）。
- ②台風来襲時の潮位は、朔望平均満潮位（T.P.+1.22m）。
- ③台風の進路は、伊勢湾台風の進路をもとに、**名古屋に最も影響を与えるコース**。
- ④破堤箇所は、防護ラインを越流した際に、**浸水範囲が最大となる箇所**。
- ⑤堤防高は、計画堤防高。
- ⑥台風の移動速度及び上陸時刻は、実績の伊勢湾台風と同じ。

## 【洪水の想定】

### 洪水の計算条件(前提条件)

河川名	庄内川	木曽川	長良川	揖斐川
条件	計画降雨×100年後の増加率			
雨量	計画降雨×100年後の増加率			
モデル洪水	H12.9 東海豪雨	S36.6 洪水	S35.8 洪水	S34.9 伊勢湾台風
破堤箇所	左岸 17.2k	左岸 21.8k	右岸 19.0k	左岸 27.2k
河道条件	計画河道	現況河道		

## 【高潮災害と洪水災害のシナリオ】

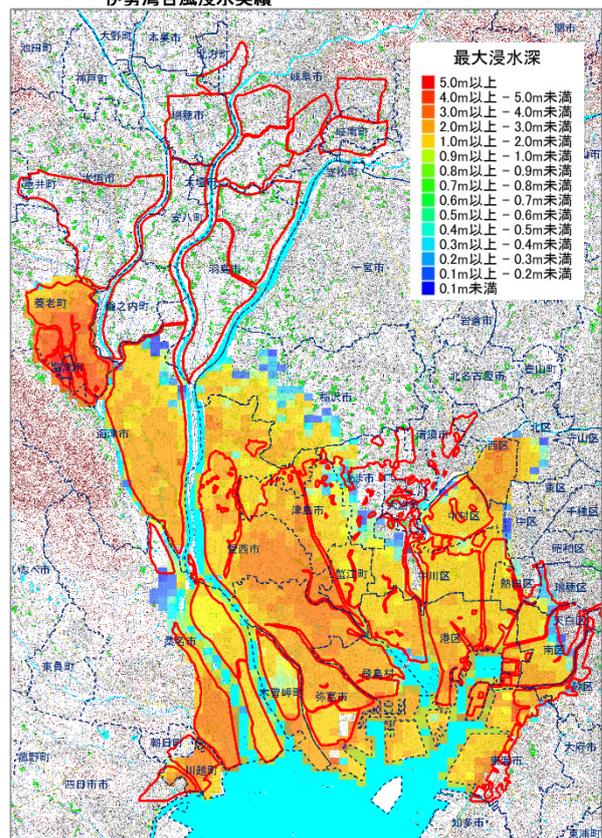


なお、流域においては庄内川、木曽川、長良川、揖斐川以外の**中小河川の破堤**、または**内水などの被害**が発生していることが考えられる。

ただし、今回は、より浸水規模が大きく、大規模となる**直轄河川が破堤した場合**を想定し、シナリオ検討を行うものである。

シナリオは、予測がある程度可能な高潮による浸水エリアを先行して避難させることを条件に設定した。

伊勢湾台風浸水実績



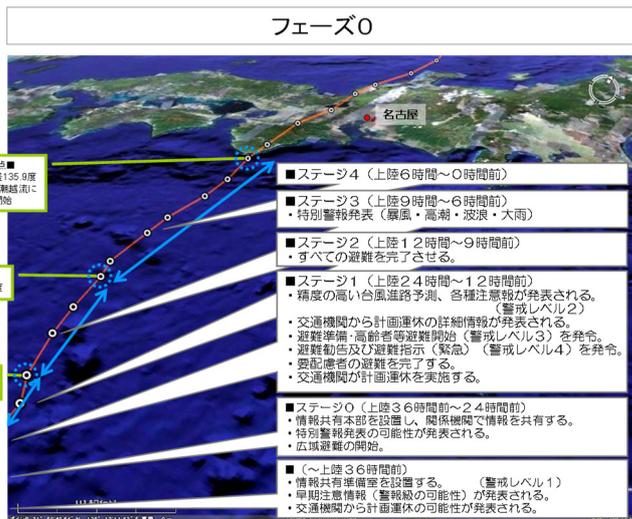
【高潮・洪水被害最大浸水想定図】

## 2. 対象フェーズとタイムライン

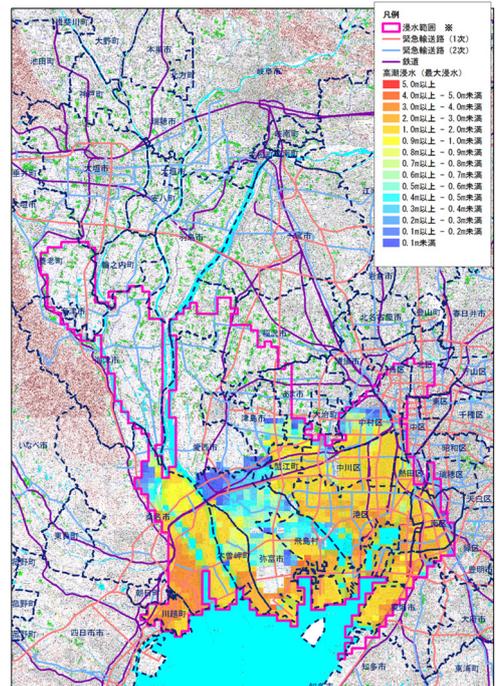
危機管理行動計画に関わる活動を実施するにあたって、避難・救助活動と応急復旧活動等の対象フェーズを以下のように設定した。なお、被害を最小化するために最も重要な避難活動の中心となるフェーズ0については、さらに5つのステージに分け、**高潮による浸水への対応**として、**情報共有**や**避難活動**に関する活動を整理した。

〔各フェーズの考え方一覧表〕

状況	時間経過	災害対応フェーズ	細区分(ステージ)	主な活動
◆台風情報により、伊勢湾台風規模の台風で、予測進路から、東海地方の低平地に大規模な浸水被害が発生するおそれがあると判断される場合には、情報共有準備室を設置する。	～上陸36時間前			◇情報共有準備室を設置。 ◇気象庁が早期注意情報(警報級の可能性)を発表。(警戒レベル1) ◇交通機関が計画運休の可能性を発表。
◆大規模な台風の襲来に伴い、広域な対応が必要であることを宣言し、情報共有本部を設置する。	上陸 36時間～24時間前		ステージ0	◇広域対応の必要性を呼びかける。 ◇情報共有本部を設置。 ◇気象庁が特別警報発表の可能性に言及。 ◇広域避難の開始。
◆伊勢湾台風規模(上陸時930hPa程度)の台風が、伊勢湾に甚大な被害を及ぼす進路が予測され、洪水・高潮により大規模被害の発生が想定される状況。 ◆気象庁による特別警報発表の可能性言及。 ◆要配慮者を安全に避難完了させるため、大勢の一般避難者が避難を開始する前に、要配慮者の避難を開始する。 ◆要配慮者の避難を完了させる。 ◆所定の避難場所(指定緊急避難場所等)への避難を開始する。	上陸 24時間～12時間前	フェーズ0	ステージ1	◇気象庁が各種注意報を発表。(警戒レベル2) ◇交通機関が計画運休の詳細情報を発表。 ◇避難準備・高齢者等避難開始(警戒レベル3)を発令する。 ◇避難勧告及び避難指示(緊急)(警戒レベル4)を発令する。 ◇要配慮者の避難を完了。 ◇所定の避難場所への避難継続。 ◇交通機関が計画運休を実施。
◆勢力を保ったまま台風が上陸し、猛烈な大雨や暴風が予想され、今後交通機関等への支障が想定される状況。	上陸 12時間～9時間前		ステージ2	◇すべての避難を完了する。
◆特別警報発表(暴風・高潮・波浪・大雨)	上陸 9時間～6時間前		ステージ3	◇気象庁が特別警報発表
◆伊勢湾に甚大な被害発生がほぼ決定的に予測された段階。	上陸 6時間～0時間前		ステージ4	
<b>氾濫</b>				
◆高潮や洪水氾濫が発生し、ゼロメートル地帯を中心に広範囲な浸水被害が発生した状況。広域活動拠点を設置し、救出活動や医療救護活動を重点的に行っている状況。	1～3日	フェーズⅠ		◇氾濫発生情報(警戒レベル5)を発表する。 ◇(自然排水) ◇救命・救助 ◇医療・救護
◆排水作業を重点的に行い、ゼロメートル地帯も含め、排水を完了させるまでの状況。排水が完了した地域から、順次、救出活動、応急復旧を進める。	4日～2週間	フェーズⅡ		◇ポンプ排水 ◇緊急輸送路確保
◆全エリアの排水完了を受け、応急復旧を重点的に行い、被災した堤防や道路、ライフラインの応急復旧が完了するまでの状況。	2週間～1ヶ月	フェーズⅢ		◇施設(堤防、交通、ライフライン)応急復旧



〔フェーズ0における各ステージの想定台風位置と状況〕



〔高潮被害最大浸水想定図〕

※ピンク枠の浸水範囲は、洪水を含めた浸水範囲

# 【タイムライン】

地球温暖化に伴う影響が懸念される昨今、巨大台風による大規模水害は明日起こるかもしれない。甚大な人的被災や都市機能が停止するような大規模な浸水の発生を前提として、対応力を強化する必要がある。

このため、科学的知見に基づき、広大なゼロメートル地帯を有する濃尾平野の大規模水害のリスク評価を速やかにを行い、国民に周知するとともに、地方公共団体、民間企業と連携し、台風情報等を活用した災害対応の防災行動計画（タイムライン）を策定・共有する。また、災害対応後にその内容を検証・改善する仕組みを構築する。

## 【TNT 関係機関タイムライン（案） ① 避難（情報）】

フェーズ	事象(トリガー) 主な出来事・活動	情報共有準備室・情報共有本部 or 非常災害現地対策本部	避難(情報)	
			気象庁 名古屋地方気象台	国土交通省中部地方整備局
～30時間前 風速・通常	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆気象庁が台風5日開予報を発表</li> <li>◆気象庁が早期注意情報(管轄域の可能性)を発表</li> <li>■警戒レベル1</li> <li>◆情報共有準備室を設置(気象台・整備局)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【発1】気象・台風情報の提供</li> <li>【発2】情報共有準備室を設置(気象台・整備局)</li> <li>【発3】TNTタイムラインの発動をTNTメンバーに通知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【発1】台風情報(5日開予報)、台風説明会</li> <li>【発1】台風は伊勢湾台風並みの影響の恐れがあることを台風情報で伝える</li> <li>【発1】気象庁が早期注意情報(管轄域の可能性)を発表</li> <li>【発2】情報共有準備室を設置(気象台・整備局)</li> <li>【発2】情報共有準備室の構成員でWeb会議</li> <li>【発3】情報共有サイトの運用開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【発1】情報収集活動(気象・台風状況)</li> <li>【発2】情報共有準備室を設置(気象台・整備局)</li> <li>【発2】情報共有準備室の構成員でWeb会議</li> <li>【発3】情報共有サイトの運用開始</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆鉄道事業者・バス事業者が計画運休の可能性を発表</li> <li>◆高速道路が通行止め可能性を発表</li> <li>◆企業、学校等が事前休業、休校を検討</li> <li>◆各県・市町村等において広域避難実施に向けた事前調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆文通機関等の運行停止、通行止めのタイミングを情報共有</li> <li>◆TNT関係自治体の避難バス調達の把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【発0-1】台風情報(5日開予報)、台風説明会</li> <li>【発0-1】伊勢湾台風並みの影響の恐れがあることを台風情報で伝える</li> <li>【発0-1】気象台、整備局の合同説明会</li> <li>◆情報収集活動(各機関の活動状況)</li> <li>【発0-2】情報共有本部を設置(気象台・整備局、三県一市)</li> <li>【発0-2】情報共有本部の構成員でWeb会議</li> <li>【発0-2】体制状況、TNTとしての連絡窓口について情報共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【発0-1】情報収集活動(気象・台風状況)</li> <li>【発0-1】気象台、整備局の合同説明会</li> <li>◆情報収集活動(各機関の活動状況)</li> <li>【発0-2】情報共有本部を設置(気象台・整備局、三県一市)</li> <li>【発0-2】情報共有本部の構成員でWeb会議</li> <li>【発0-2】体制状況、TNTとしての連絡窓口について情報共有</li> </ul>
ステージ0 (30時間前～24時間前) 風速・通常	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆気象庁が台風5日開予報を発表</li> <li>◆気象台、整備局の合同説明会</li> <li>◆情報共有本部を設置(気象台・整備局、三県一市)</li> <li>◆鉄道事業者・バス事業者が計画運休の詳細情報を発表</li> <li>◆高速道路が通行止めの詳細情報を発表</li> <li>◆企業、学校等が事前休業、休校を決定</li> <li>◆大規模浸水を想定した排水ポンプ車の派遣要請調整開始</li> <li>◆自衛水防活動の準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【発0-1】気象・台風情報の提供</li> <li>【発0-2】情報共有本部を設置(気象台・整備局、三県一市)</li> <li>◆ゼロアワーの修正(TNTタイムラインの進捗状況、避難完了目標時刻までの所要時間)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【発0-1】台風情報(5日開予報)、台風説明会</li> <li>【発0-1】伊勢湾台風並みの影響の恐れがあることを台風情報で伝える</li> <li>【発0-1】気象台、整備局の合同説明会</li> <li>◆情報収集活動(各機関の活動状況)</li> <li>【発0-2】情報共有本部を設置(気象台・整備局、三県一市)</li> <li>【発0-2】情報共有本部の構成員でWeb会議</li> <li>【発0-2】体制状況、TNTとしての連絡窓口について情報共有</li> <li>◆特別警報発表の可能性に言及(情報、台風説明会等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【発0-1】情報収集活動(気象・台風状況)</li> <li>【発0-1】気象台、整備局の合同説明会</li> <li>◆情報収集活動(各機関の活動状況)</li> <li>【発0-2】情報共有本部を設置(気象台・整備局、三県一市)</li> <li>【発0-2】情報共有本部の構成員でWeb会議</li> <li>【発0-2】体制状況、TNTとしての連絡窓口について情報共有</li> <li>◆災害対策時の協定団体への支援準備、要請</li> <li>◆必要により避難ルール等での工事中止</li> <li>◆リゾン派遣</li> <li>◆地盤への応援要請</li> <li>◆防災エキスパートへの応援要請</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆気象庁が特別警報発表の可能性に言及</li> <li>◆広域避難の開始(24時間前)</li> <li>◆避難所の開設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ゼロアワーの修正(TNTタイムラインの進捗状況、避難完了目標時刻までの所要時間)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆特別警報発表の可能性に言及(情報、台風説明会等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆災害対策時の協定団体への支援準備、要請</li> <li>◆必要により避難ルール等での工事中止</li> <li>◆リゾン派遣</li> <li>◆地盤への応援要請</li> <li>◆防災エキスパートへの応援要請</li> </ul>
フェーズ0 ステージ1 (24時間前～12時間前) 風速・通常	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆気象庁が台風5日開予報を発表</li> <li>◆気象庁が各種注意報を発表</li> <li>■警戒レベル2</li> <li>◆避難準備・高齢者避難開始を発表</li> <li>■警戒レベル3</li> <li>◆避難勧告・避難指示(緊急)を発表</li> <li>■警戒レベル4</li> <li>◆広域避難の継続</li> <li>◆企業、学校等が事前休業、休校を実施</li> <li>◆大規模浸水を想定した排水ポンプ車の派遣要請</li> <li>◆自衛水防活動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【発1-1】気象・台風情報の提供</li> <li>【発1-2】TNT関係機関の対応状況の確認</li> <li>【発1-3】ゼロアワーの修正(TNTタイムラインの進捗状況、避難完了目標時刻までの所要時間)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【発1-1】暴風・波浪警報、台風情報、各種注意報の発表</li> <li>◆情報収集活動(各機関の活動状況)</li> <li>【発1-3】体制状況について情報共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【発1-1】情報収集活動(気象・台風状況)</li> <li>◆情報収集活動(各機関の活動状況、災害対策時の協定団体の状況)</li> <li>【発1-3】体制状況について情報共有</li> <li>◆大規模浸水を想定した排水ポンプ車の派遣要請</li> <li>◆排水ポンプ車の出動準備</li> <li>◆道路啓開作業の準備</li> <li>◆通行止めの準備</li> <li>◆保有船舶の台風対策実施</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆鉄道による広域避難の完了</li> <li>◆鉄道事業者、路線バス、高速バスが計画運休</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ゼロアワーの修正(TNTタイムラインの進捗状況、避難完了目標時刻までの所要時間)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆特別警報発表の可能性に言及(情報、台風説明会等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆災害対策時の協定団体への支援準備、要請</li> <li>◆必要により避難ルール等での工事中止</li> <li>◆リゾン派遣</li> <li>◆地盤への応援要請</li> <li>◆防災エキスパートへの応援要請</li> </ul>
ステージ2 (12時間前～9時間前) 風速・通常	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆気象庁が台風5日開予報を発表</li> <li>◆大規模浸水を想定した排水ポンプ車の配置完了</li> <li>◆臨時バス・自家用車による広域避難の完了(9時間前)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【発2-1】気象・台風情報の提供</li> <li>【発2-2】TNT関係機関の対応状況の確認</li> <li>【発2-3】ゼロアワーの修正(TNTタイムラインの進捗状況、避難完了目標時刻までの所要時間)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【発2-1】高潮・大雨警報、台風情報、各種注意報の発表</li> <li>◆情報収集活動(各機関の活動状況)</li> <li>【発2-3】体制状況について情報共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【発2-1】情報収集活動(気象・台風状況)</li> <li>◆情報収集活動(各機関の活動状況、災害対策時の協定団体の状況)</li> <li>【発2-3】体制状況について情報共有</li> <li>◆大規模浸水を想定した排水ポンプ車の配置完了</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆気象庁が特別警報発表(暴風・波浪)</li> <li>◆逃げ遅れ住民に対する措置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆特別警報発表の可能性に言及(情報、台風説明会等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆特別警報発表(暴風・波浪)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆災害対策時の協定団体への支援準備、要請</li> <li>◆必要により避難ルール等での工事中止</li> <li>◆リゾン派遣</li> <li>◆地盤への応援要請</li> <li>◆防災エキスパートへの応援要請</li> </ul>
ステージ3 (9時間前～6時間前) 風速・通常～15m/s	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆気象庁が特別警報発表(暴風・波浪)</li> <li>◆逃げ遅れ住民に対する措置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【発3-1】気象・台風情報の提供</li> <li>【発3-2】TNT関係機関の対応状況の確認</li> <li>【発3-3】ゼロアワーの修正(TNTタイムラインの進捗状況、避難完了目標時刻までの所要時間)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【発3-1】特別警報発表(暴風・波浪)</li> <li>【発3-1】特別警報を補足する気象情報、台風情報の発表</li> <li>◆情報収集活動(各機関の活動状況)</li> <li>【発3-3】体制状況について情報共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【発3-1】情報収集活動(気象・台風状況)</li> <li>◆情報収集活動(各機関の活動状況、災害対策時の協定団体の状況)</li> <li>【発3-3】体制状況について情報共有</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆被災後の応急復旧を速やかにするための復旧態勢の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆特別警報発表の可能性に言及(情報、台風説明会等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆特別警報発表(暴風・高潮・波浪)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆災害対策時の協定団体への支援準備、要請</li> <li>◆必要により避難ルール等での工事中止</li> <li>◆リゾン派遣</li> <li>◆地盤への応援要請</li> <li>◆防災エキスパートへの応援要請</li> </ul>
ステージ4 (6時間前～0時間前) 風速:15m/s～35m/s	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆気象庁が台風5日開予報を発表</li> <li>◆気象庁が特別警報発表(暴風・高潮・波浪)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【発4-1】気象・台風情報の提供</li> <li>【発4-2】TNT関係機関の対応状況の確認</li> <li>【発4-3】ゼロアワーの修正(TNTタイムラインの進捗状況、避難完了目標時刻までの所要時間)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【発4-1】特別警報発表(暴風・高潮・波浪)</li> <li>【発4-1】特別警報を補足する気象情報、台風情報の発表</li> <li>◆情報収集活動(各機関の活動状況)</li> <li>【発4-3】体制状況について情報共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【発4-1】情報収集活動(気象・台風状況)</li> <li>◆情報収集活動(各機関の活動状況、災害対策時の協定団体の状況)</li> <li>【発4-3】体制状況について情報共有</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆被災後の応急復旧を速やかにするための復旧態勢の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆特別警報発表の可能性に言及(情報、台風説明会等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆特別警報発表(暴風・高潮・波浪)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆災害対策時の協定団体への支援準備、要請</li> <li>◆必要により避難ルール等での工事中止</li> <li>◆リゾン派遣</li> <li>◆地盤への応援要請</li> <li>◆防災エキスパートへの応援要請</li> </ul>

### 3. 情報共有のしくみ

#### ■情報共有の考え方

計画規模を超える外力により発生する大規模且つ広域な災害時には、**各防災関係機関が有する情報を共有し、関係機関が連携して行動することが重要**である。そのためには、関係機関の有する多様な情報を集約させ、管理できる体制の構築が必要である。

#### ■情報伝達のための体制

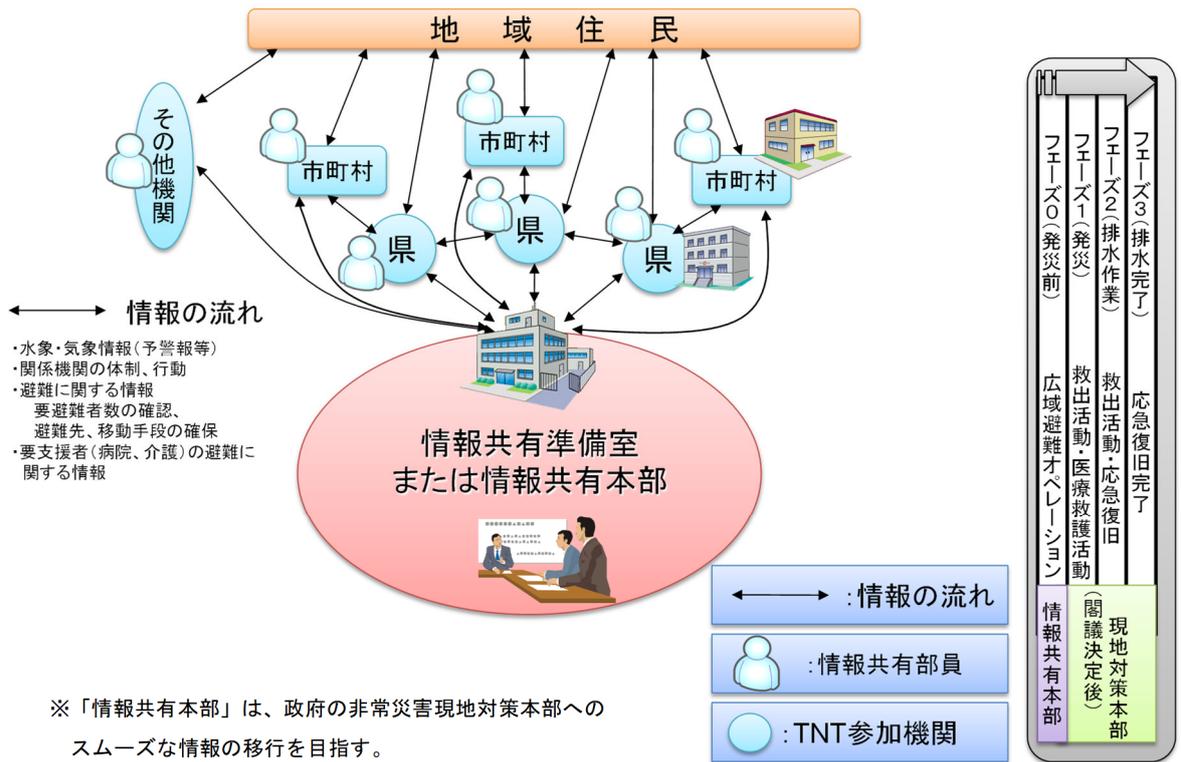
気象庁の台風情報（5日予報）により、伊勢湾台風規模（上陸時930hPa程度）の台風で、予測進路から、東海地方の低平地に大規模な浸水被害が発生するおそれがあると判断される場合には、名古屋地方気象台及び中部地方整備局は、情報共有準備室を設置し、TNT関係機関に気象・水文情報の提供を行うと共に、その他関係機関の対応状況も含め、情報把握を行う。

さらに気象庁の台風情報（5日予報）により、伊勢湾台風規模（上陸時930hPa程度）の台風で、予測進路から、東海地方の低平地に大規模な浸水被害が発生する可能性が高まったと判断された場合には、中部地方整備局、名古屋地方気象台、三県（愛知県・岐阜県・三重県）及び一市（名古屋市）は、情報共有本部を設置し、情報共有本部がTNT関係機関に必要な情報等を提供、共有することなどにより、大規模災害に備えた対策の準備を行う。

なお情報共有本部は、必要に応じてTNT関係機関に、避難活動の準備等を実施するにあたっての情報提供を行うものであり、**意思決定は行わない**。

#### ■情報共有内容

情報共有準備室及び情報共有本部は、東海ネーデルランド高潮・洪水地域協議会の組織間で、災害時の活動をスムーズに行えるよう、情報共有を行う。共有する情報は、TNT関係機関が、災害対策活動をする上で伝達していく情報、及び現在の状況を把握し、今後の活動方針の判断材料となる情報とする。具体的には、台風情報に加え、リアルタイムでの高潮・浸水情報（潮位、浸水位など）、広域な需給バランスの調整に必要なTNT関係機関の支援に関する情報（例えば、避難所や資機材の数量）及び避難活動や救助活動の状況等の広域的な情報を共有する。



## 【情報共有準備室】

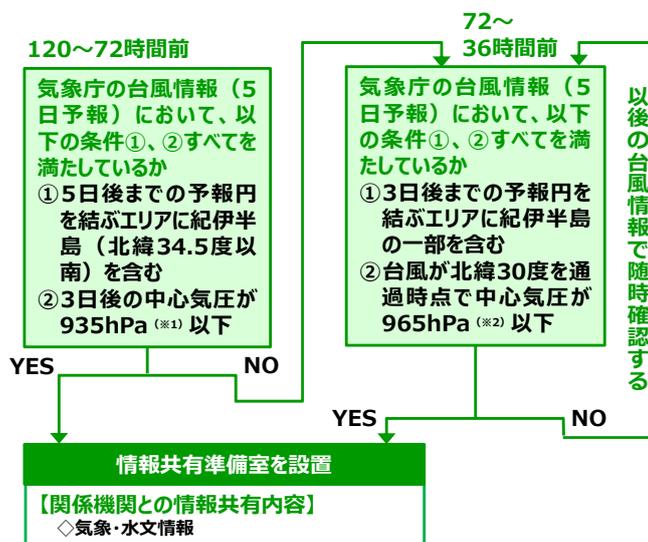
情報共有準備室は、東海地方の低平地に大規模な浸水被害が発生するおそれがあることをいち早く把握し、TNT関係機関に大規模災害対応に向けた**情報収集や心の準備を促すことを目的**に設置する。

情報共有準備室の設置は、TNT関係機関の誰もが入手可能な気象庁の台風情報を判断材料とする。

情報共有準備室の構成機関は、その役割が「**関係機関への気象・水文情報の共有**」であるため、TNT関係機関のうち、中部地方整備局及び名古屋地方気象台とする。

〔情報共有準備室設置までの判断フロー図〕

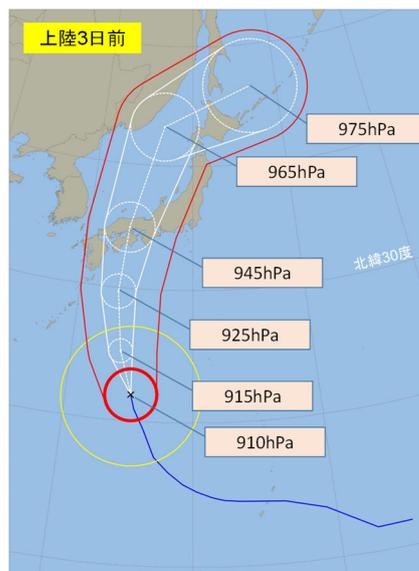
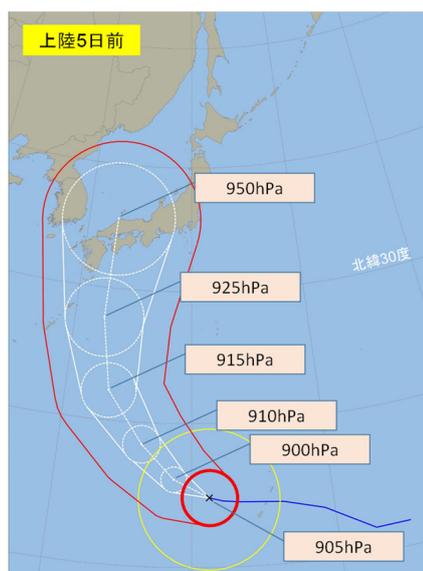
〔構成機関〕：中部地方整備局 名古屋地方気象台



【120～72時間前】

〔台風情報（5日予報）〕

【72～36時間前】



左の場合、3日後の中心気圧は915hPaであり（設置基準は935hPa以下）、さらに5日後までの予報円を結ぶエリアに紀伊半島を含むため、準備室が設置される。

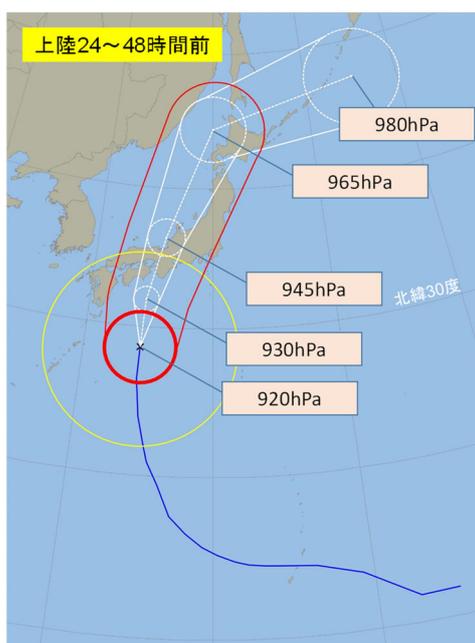
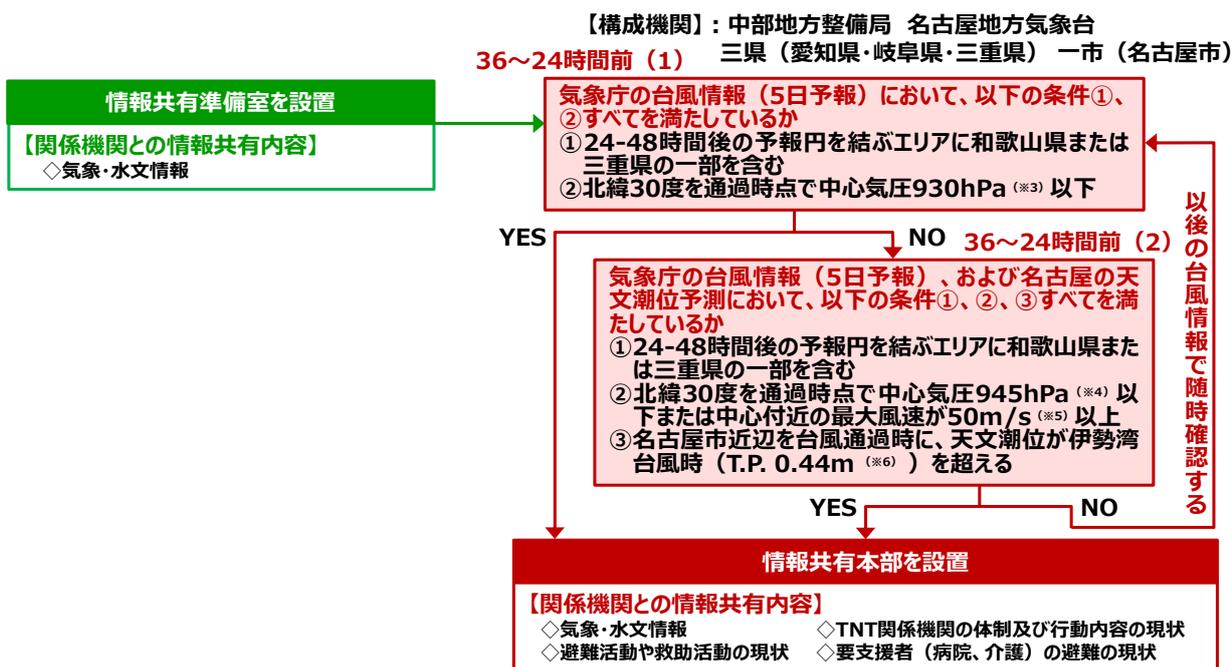
右の場合、北緯30度線では925hPa程度となり（設置基準は965hPa以下）、さらに3日後までの予報円を結ぶエリアに紀伊半島の一部を含むため、準備室は継続中となる。

## 【情報共有本部】

情報共有本部は、東海地方の低平地に大規模な浸水被害が発生するおそれが高まった場合に、TNT関係機関に大規模災害対応に向けた**実働の準備を促すことを目的**に、情報共有準備室が設置する。情報共有本部の設置は、TNT関係機関が予見できるよう、誰もが入手可能な気象庁の台風情報を判断材料とする。

情報共有本部の構成機関は、その役割が「**TNT関係機関の体制及び避難活動等の現状把握**」など多岐にわたるため、情報共有準備室の構成機関に三県（愛知県・岐阜県・三重県）、一市（名古屋市）を加えたものに拡大する。

〔情報共有本部設置までの判断フロー図〕



〔台風情報（5日予報）〕  
【36～24時間前】

北緯30度線で、930hPa以下で、さらに24～48時間の予報円を結ぶエリアに三重県、和歌山県の一部を含むため情報共有本部が立ち上がる。

# 〔情報共有システム〕

## 〔TNT関係機関で共有することが必要と考えられる情報〕

時間経過	事象（トリガー）／主な出来事・活動	情報共有本部等で共有することが必要と考えられる情報（案）	情報入手先
～上陸36時間前	<ul style="list-style-type: none"> <li>気象庁が早期注意情報（警報級の可能性）を発表（警戒レベル1）</li> <li>気象庁の台風情報（5日予報）から情報共有準備室を立ち上げ（中部地方整備局、名古屋地方気象台）</li> <li>交通関係機関が計画運休・通行止めの可能性を発表</li> <li>企業、学校等が事前休業、休校を検討</li> <li>自主的危機回避行動（自主避難）に関する情報提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>台風上陸予想時を含めた気象、台風情報 ※以降継続（関係機関への気象・水文情報の発信）</li> <li>名古屋等における高潮等の潮位情報</li> <li>気象予警報の発表状況、今後の発表予測</li> <li>情報共有準備室の設置状況</li> <li>交通関係機関の計画運休、通行止めに関する情報</li> <li>TNT関係機関の体制及び避難活動等の現状把握 ※以降継続</li> <li>自主的危機回避行動（自主避難）に関する情報（必要性）</li> <li>TNT関係機関へのタイムラインの相対時間と絶対時間の誤差修正の発信 ※以降継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気象庁HP</li> <li>気象庁HP</li> <li>気象庁HP</li> <li>TNT情報共有システム</li> <li>交通関係機関HP</li> <li>TNT関係機関HP</li> <li>TNT情報共有システム</li> <li>TNT情報共有システム</li> </ul>
ステージ0 上陸 36時間～24時間前	<ul style="list-style-type: none"> <li>名古屋地方気象台、中部地方整備局の合同説明会</li> <li>気象庁の台風情報（5日予報）から情報共有本部を立ち上げ（中部地方整備局、名古屋地方気象台、三県一市）</li> <li>交通関係機関が計画運休・通行止めの詳細情報を発表</li> <li>企業、学校等が事前休業、休校を決定</li> <li>自主的危機回避行動（自主避難）に関する情報提供</li> <li>気象庁が特別警報発表の可能性に言及</li> <li>広域避難の開始（24時間前）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上陸36時間前までの更新情報</li> <li>情報共有本部の設置状況</li> <li>各機関の体制、対応状況</li> <li>交通関係機関の計画運休、通行止めの詳細に関する情報 ※以降継続</li> <li>自主的危機回避行動（自主避難）に関する情報（必要性）</li> <li>気象庁による特別警報の可能性の言及</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>TNT関係機関HP</li> <li>TNT情報共有システム</li> <li>TNT関係機関HP</li> <li>交通関係機関HP</li> <li>TNT情報共有システム</li> <li>気象庁HP</li> </ul>
ステージ1 上陸 24時間～12時間前	<ul style="list-style-type: none"> <li>気象庁が各種注意報を発表（警戒レベル2）</li> <li>避難準備・高齢者避難開始を発表（警戒レベル3）</li> <li>避難勧告・避難指示（緊急）を発表（警戒レベル4）</li> <li>避難行動要援者等の避難を開始し、完了する</li> <li>自主的危機回避行動（自主避難）に関する情報提供</li> <li>鉄道による広域避難の完了</li> <li>鉄道事業者が計画運休</li> <li>路線バス・高速バスが計画運休</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ステージ0までの更新情報</li> <li>今後の予測水位情報 ※現行ルール下では提供が困難</li> <li>今後の波浪うちあげ高情報 ※現行ルール下では提供が困難</li> <li>避難情報（勧告、指示等）および避難所情報</li> <li>自主的危機回避行動（自主避難）に関する情報（抑制）</li> <li>道路冠水や高速道路等の通行止め等の情報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>TNT関係機関HP</li> <li>—</li> <li>—</li> <li>県・市町村HP</li> <li>TNT情報共有システム</li> <li>道路・交通管理者HP</li> </ul>
ステージ2 上陸 12時間～9時間前	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主的危機回避行動（自主避難）に関する情報提供</li> <li>臨時バス・自家用車による広域避難の完了（9時間前）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ステージ1までの更新情報</li> <li>自主的危機回避行動（自主避難）に関する情報（抑制）</li> <li>ライフライン等の状況</li> <li>内水氾濫や中小河川の氾濫等、被害の発生状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>TNT関係機関HP</li> <li>TNT情報共有システム</li> <li>ライフライン関係機関HP</li> <li>DIMAPS（国土省）</li> </ul>
ステージ3 上陸 9時間～6時間前	<ul style="list-style-type: none"> <li>気象庁が特別警報発表（暴風・高潮・波浪・大雨）</li> <li>自主的危機回避行動（自主避難）に関する情報提供</li> <li>逃げ遅れ住民に対する措置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ステージ2までの更新情報</li> <li>気象庁による特別警報の発表</li> <li>自主的危機回避行動（自主避難）に関する情報（垂直避難・待避）</li> <li>避難状況（逃げ遅れ）等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>TNT関係機関HP</li> <li>気象庁HP</li> <li>TNT情報共有システム</li> <li>県・市町村HP</li> </ul>
ステージ4 上陸 6時間～0時間前		<ul style="list-style-type: none"> <li>ステージ3までの更新情報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>TNT関係機関HP</li> </ul>

## 〔TNT情報共有システム（試作版）〕

TNT情報共有システム
年月日( ) 時 分

2020年 台風15号
トップページ

避難  
情報

避難  
交通

救援・支援

ライフライン

① 避難（情報）

機関	担当	内容	更新日時	備考
気象庁	中部地方整備局	気象庁からの早期注意情報（警戒レベル1）の発表について共有。	2020/09/01 10:00	
名古屋地方気象台	名古屋地方気象台	名古屋地方気象台からの台風情報（5日予報）の共有について共有。	2020/09/01 10:05	
中部地方整備局	中部地方整備局	交通関係機関からの計画運休・通行止めの詳細情報の共有について共有。	2020/09/01 10:10	
企業	企業	企業からの事前休業・休校の決定について共有。	2020/09/01 10:15	
自主的危機回避行動（自主避難）	自主的危機回避行動（自主避難）	自主的危機回避行動（自主避難）に関する情報提供について共有。	2020/09/01 10:20	
気象庁	気象庁	気象庁からの特別警報発表の可能性の言及について共有。	2020/09/01 10:25	
広域避難	広域避難	広域避難の開始（24時間前）について共有。	2020/09/01 10:30	

## 4. 避難活動

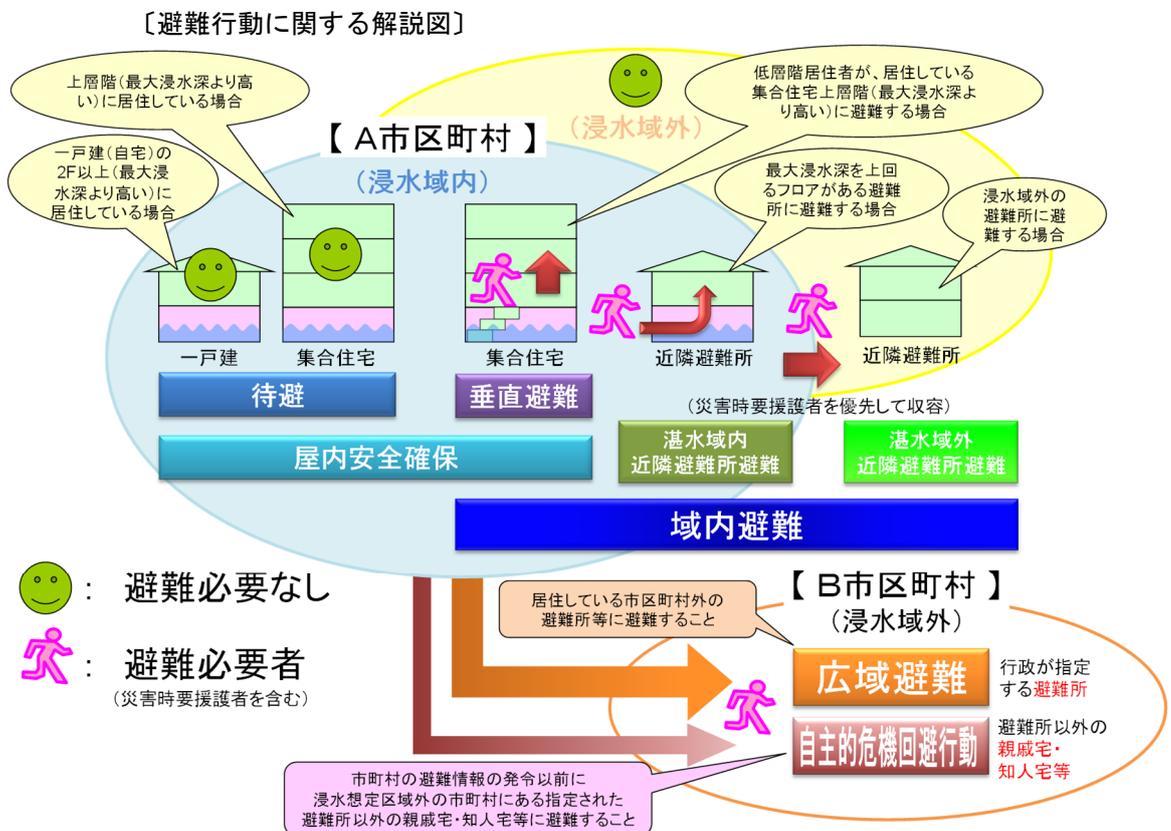
### ■ 避難活動の考え方

広域避難は、スーパー伊勢湾台風による浸水被害が予想された場合に、住民を迅速に安全な場所に避難させるため、**避難対象者、避難行動、避難場所、避難経路、避難誘導の基本フレームを定めるもの**である。

### ■ 避難行動

避難場所を確保することは、浸水エリアを抱える市区町村のみでは困難であるため、当該市区町村を越えた広域避難が必要である。

また、避難行動として垂直避難の考え方も導入する。



### ■ 自主的危機回避行動(自主避難)

住民が「自らの命は自らが守る」ために、災害時には自らの判断で適切に避難行動をとるひとつの方法として、**自治体の避難情報の発令以前に、浸水想定区域外の市町村にある指定された避難所以外の親戚宅・知人宅等に避難する**「自主的危機回避行動(自主避難)」という方法がある。

大規模な高潮等の浸水被害の発生を想定すると、**事前の「自主的危機回避行動(自主避難)」を促すことも重要**である。

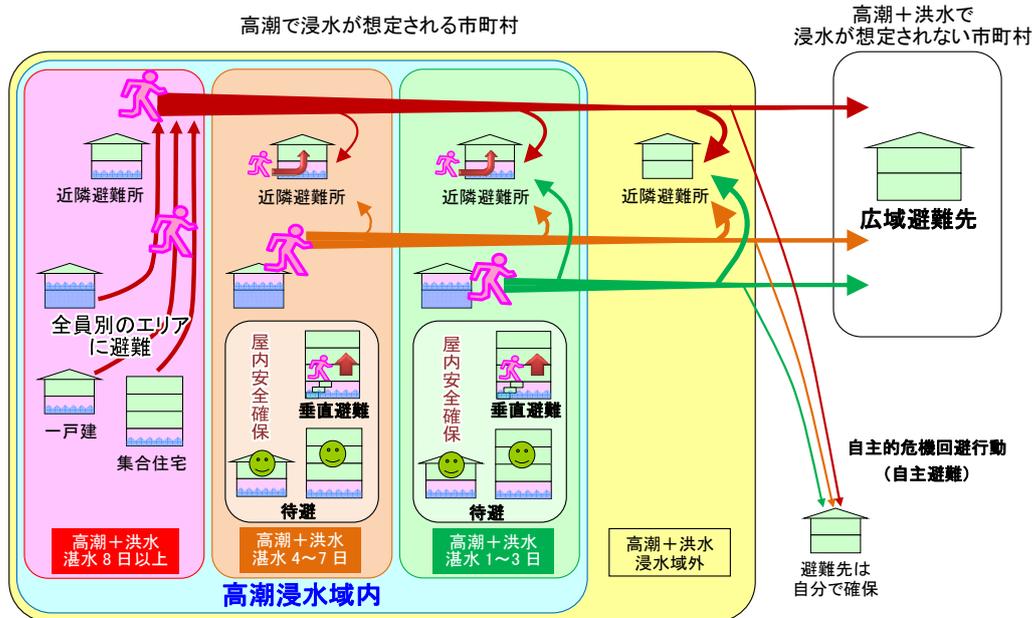
TNT 関係機関は、住民に対して情報提供を行うなど、適切に対応する。

## ■避難場所

**広域避難先は、高潮及び洪水の浸水エリア外に設定する。また、洪水による避難者の受入人数を確保しておく必要**がある。

なお浸水エリア以外においても、他の河川等からの浸水被害が発生していることも想定されることから、浸水規模、浸水程度に応じた広域避難先の弾力的設定を、今後検討する。

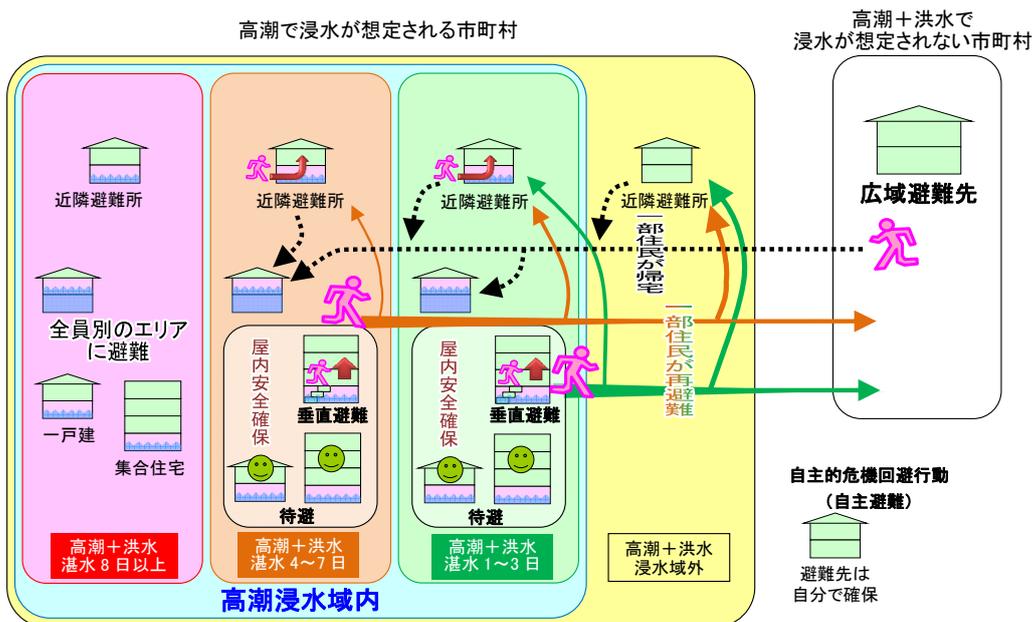
### 〔氾濫前の広域避難と近隣避難、自主的危機回避行動（自主避難）の考え方〕



※浸水期間は高潮+洪水の場合で算出

※高潮+洪水の浸水期間が8日以上地域に居住している住民は、別の地域の避難所（浸水期間が7日以下の近隣避難所、浸水域外の近隣避難所、広域避難先）に避難する。

### 〔氾濫後の再避難と近隣避難の考え方〕

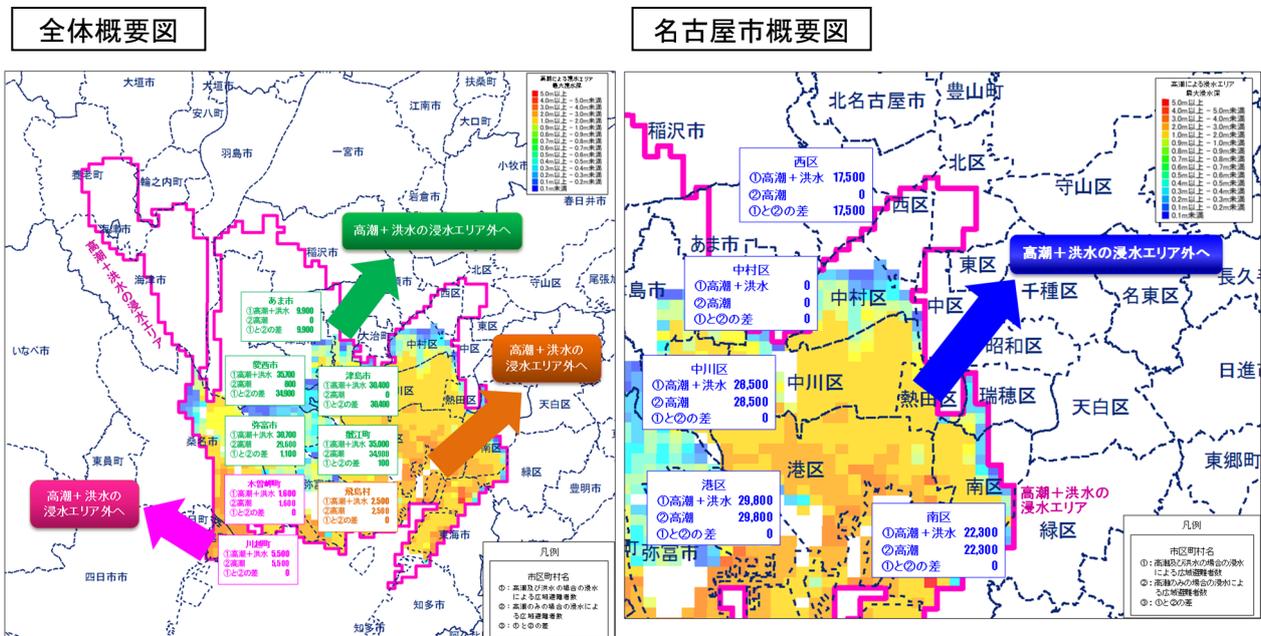


※浸水期間は高潮+洪水の場合で算出

## ■避難対象者

- ・洪水及び高潮時を想定すると、浸水エリアを含む市区町村に居住している人口は、約243万人（H27国勢調査）
- ・要避難者数は約55万人。
- ・地域内で収容不可能な人数（広域避難を必要とする人数）は約25万人。
- ・**高潮による浸水エリアを先行して避難**させる。  
 （理由）：災害発生を時系列で考えた場合、先行して高潮被害が発生し、その後、洪水被害が起こる可能性が高い（伊勢湾台風の実績）と想定したため。
- ・高潮による浸水エリアを先行して避難させた場合、要避難者数は約36万人
- ・地域内で収容不可能な人数（広域避難を必要とする人数）は約16万人\*。  
 ※：自主的危機回避行動（自主避難）者数の約1万人を含む
- ・ただし、**洪水による浸水被害が発生すると想定される地域も考慮して避難先を検討**する。

〔広域避難先の分散に関する全体概要図及び名古屋市概要図〕



## 【広域避難の考え方】

- ※高潮及び洪水浸水域内の避難所は除外
- ※市町村意向を極力反映したエリア毎の広域避難を提示
- ※避難完了に要する時間を考慮

## ■避難経路・避難誘導

避難経路および避難誘導については、極力一般交通機関等を利用させる等、道路渋滞を発生させない避難方法を検討する。特に車の誘導、渋滞への対策として、必要に応じて交通整理や交通制御等、バスの調達など、大規模輸送の事前計画が必要である。

## 5. 救助・応急復旧計画

### ■位置づけ

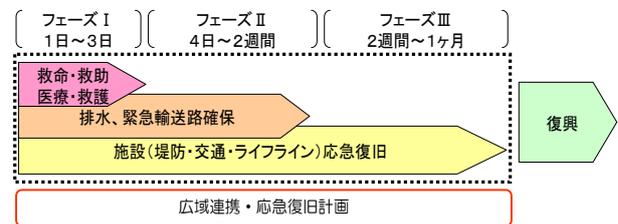
- ・救助・応急復旧活動を行う上で、**関係機関が広域連携して活動すべき項目、その活動方針や事前に申し合わせておくべき事項**をまとめたもの。
- ・被害想定は、「1. 複合災害の想定」で設定した高潮及び洪水の複合災害。

### ■目標

- ・災害発生後から応急復旧完了までのフェーズを対象とする。
- ・応急復旧は、**災害発生から1ヶ月後で完了させる**ことを目標とする。

### ■作業目標

- ・作業目標としては、目安として、2週間で応急復旧の準備（排水完了・緊急輸送路確保）
- ・1ヶ月で堤防・交通（道路・鉄道）・ライフラインの施設応急復旧完了を目標とする。



〔応急復旧のフェーズの考え方〕

#### 【フェーズⅠ】

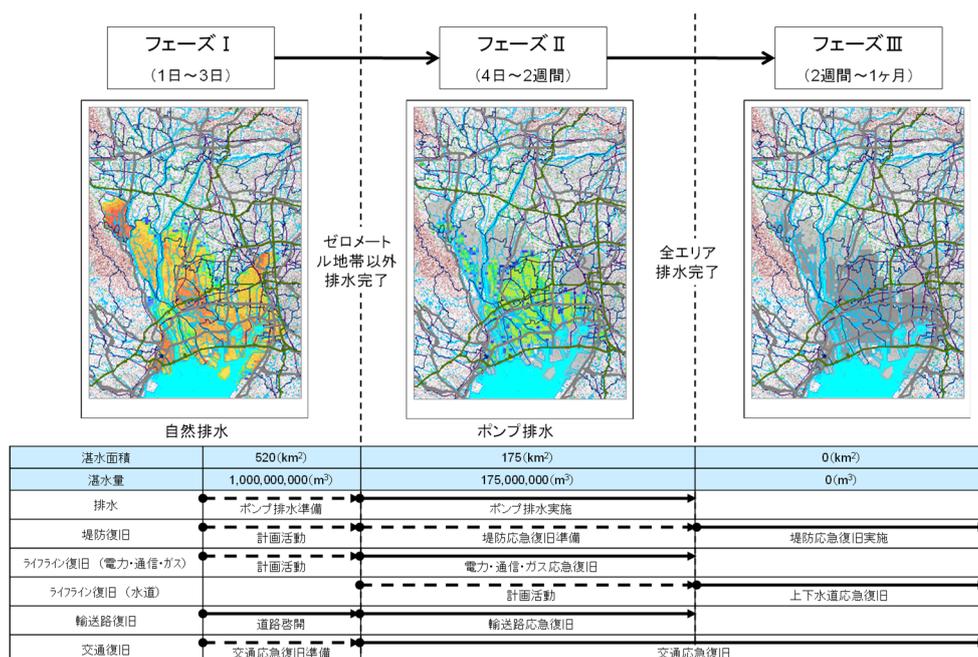
高潮や洪水氾濫が発生し、ゼロメートル地帯を中心に広範囲な浸水被害が発生した状況。広域活動拠点を設置し、救出活動や医療救護活動を重点的に行っている状況。

#### 【フェーズⅡ】

排水作業を重点的に行い、ゼロメートル地帯も含め、排水を完了させるまでの状況。排水が完了した地域から、順次、救出活動、応急復旧を進める。

#### 【フェーズⅢ】

全エリアの排水完了を受け、応急復旧を重点的に行い、被災した堤防や道路、ライフラインの応急復旧が完了するまでの状況。



※ 各復旧項目の開始・完了を表す各フェーズは、あくまで目標である。



## 6. フォローアップ計画

### ■啓発活動(避難を促す取り組み)

大規模な高潮・洪水災害に対しては、地域社会を構成する住民と行政が連携して対応していくことが求められており、避難に対する住民の意識を醸成するためには、行政と住民が対話することにより相互理解を促進し、地域防災力の向上を図ることも有効な手段となる。

〔自主的危機回避行動（自主避難）を含む住民の主体的な避難を促すための取り組み〕

#### ◆ポスター・パンフレット等

パンフレットを作成して住民に配布  
(江東5区広域避難推進協議会)



〔出典〕江戸川区HP

#### ■広域避難に関係する事例

- ① ポスター・パンフレット等 P.13
- ② 新聞記事（広告） P.14

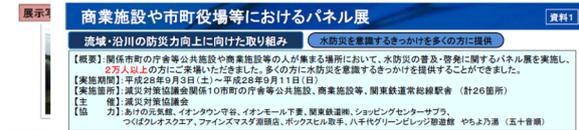
#### ■広域避難に応用可能な事例

- ③ マイタイムライン P.15
- ④ 災害・避難カード P.16
- ⑤ バスを利用した避難訓練 P.17
- ⑥ ワークショップ P.18
- ⑦ シンポジウム等（イベント） P.19

#### 国 気象台 県 市町村 企業 学校 自主防災組織

〔凡例〕 ■すでに実施している関係機関

商業施設等でパネル・写真を展示  
(鬼怒川・小貝川上流域大規模氾濫に関する減災対策協議会)



〔出典〕茨城県HP

#### ■市町村内避難に関係する事例

- ⑧ 住民による防災マップづくり P.20
- ⑨ 住民参加の避難訓練 P.21
- ⑩ 要配慮者の避難訓練 P.22

#### ■正しいリスクの認識に関係する事例

- ⑪ 防災教育 P.23
- ⑫ 防災教育（ゲーム） P.24
- ⑬ 防災教育（VR） P.25
- ⑭ プッシュ型メール P.26
- ⑮ 河川監視カメラのライブ配信 P.27
- ⑯ 低コスト型河川監視カメラ P.28
- ⑰ 公式SNSを活用した情報拡散 P.29
- ⑱ 専門家による解説 P.30

## 7. 見えてきた課題

### ■課題一覧（主なもの）

#### 【被害想定】

各県の高潮の想定の整合性、及び整合をとる必要性がある。

庄内川、木曾川、長良川、揖斐川以外の中小河川の破堤や内水はん濫が高潮より先行して発生することや、台風の進行に伴いこれらを考慮する必要がある。

#### 【情報共有】

「自主避難(自主的危機回避行動)の呼びかけ」の基準、タイミング、方法が明確になっていない。

#### 【避難】

##### （住民への伝達等）

住民の避難行動に直結する、緊迫感のある情報の伝え方が必要である。

住民が混乱を招かないようにするために、効果的な情報伝達方法について検討が必要である。

##### （避難先等）

広域避難者（再避難者を含む）を受け入れる避難先市町村の意向を確認し、計画熟度を固める必要がある。

近隣避難所及び広域避難先は、仮設住宅建設までの長期的な滞在地点ともなるので、十分な支援体制を確保する必要がある。

##### （手法等）

広域的な避難を行う場合には、現行の県単位での防災計画に位置付けられている「緊急輸送路」の活用方法について、改めて検討する必要がある。

避難行動要支援者がバス停に集合することは困難であり、バス輸送は難しいことから避難手法を検討する必要がある。

##### （タイミング等）

通常の洪水予報によると時間的猶予がなく事前の広域避難判断には活用できないため、洪水に対する効果的なタイミングを検討する必要がある。

##### （その他）

垂直避難・待避について、湛水範囲や浸水深、期間によって、物資の供給等十分な支援体制を検討する必要がある。

#### 【救助・救出】

フェーズⅠ以降の救出・救助、復旧、復旧（広域活動拠点）、その他については、「伊勢湾湾岸一帯に大規模な浸水を伴う被害への対処」として、被害想定に類似する中部圏地震防災基本戦略と一元化して検討し、実効性の向上を図る。

#### 【復旧】

##### ●全般

全国から支援を受けるためにも幹線交通網や港湾機能の早期復旧が必要である。

##### ●広域活動拠点等

広域活動拠点の運用方法等について具体的な検討を行う必要がある。